



にじ 虹のかけ橋

令和8年9月24日

第19号

文責 校長：大庭

学校教育目標「自律 ～いきいき わくわく やさしく～」

思い出いっぱいの自然教室

9月10日（木）、11日（金）の二日間、岩城少年自然の家で5年生の自然教室が行われました。

初日のメインイベントは、何ととっても野外炊飯。火をおこしたり飯盒でご飯を炊いたりするのは、普段はなかなかできない体験です。ご飯が焦げたり、カレーがシャバシャバに仕上がったり……という「野外炊飯あるある」に見舞われるのが常なのですが、そのような班は一つもなく、とってもおいしくできたとのこと。さすが岩谷小の5年生です。私は留守番隊だったため、夕方以降の活動の様子を見にいったのですが、所員の方がロ々に「岩谷小学校さん、とっても立派です。がんばっていますよ！」と教えてくださいました。その言葉通り笑顔でがんばっている子どもたちを見て、本当に嬉しく思いました。二日目のメインはA A P（あきたアドベンチャープログラム）。協力しなければできない活動を通して、集団としての力を一層高めました。

これまでも協力し合って役割を果たす姿がたくさん見られていた5年生ですが、二日間の自然教室を通して更に成長し、学年の絆を深めることができました。自然教室で培った力を今後の学校生活に生かし、高学年としてますます活躍してくれることを期待しています。

10日（木）
ベッドメイク → 野外炊飯 →
フロアカーリング → テント設営体験
→ 提灯作り → 入浴 → 館内ハイク
11日（金）
A A P → ボルダリング



授業研究会でのがんばり（9／4：6年外国語、9／8：3年算数）



再構成する6年生らしい学びの姿が素敵でした。

6年生は、「夏休みの思い出を大内小学校の6年生に英語で伝えよう」という単元のゴールに向かって、どんな内容をどんな順序で伝えるかを考えました。友達からアドバイスをもらって発表内容を



ながら夢中になって取り組む姿が素晴らしかったです。

3年生は、あまりのあるわり算の学習。問題場面に応じたあまりの処理の仕方を考えました。タブレットを使ったり、グループで考えをまとめたり、具体物を使って確認したり。頭をフル回転させながら



令和8年度秋田県少年少女陸上競技大会（9／13）

6月6日に行われた地区大会を経て、7名の選手が県大会に出場しました。

地区大会後は陸上部としての活動は休止して自主トレに励み、夏休み明けから練習を再開し、短期集中で県大会に臨んだ選手たち。全県から集まった選手たちと肩を並べ、堂々の走りを見せてくれました。結果は次の通りです。（敬称略）

高原 **

男子4年100m 第6位 15秒49
(予選 15秒31)

菊地** 佐藤** 田口** 佐藤**

吉尾** 伊藤**

男女4×100mリレー 第8位 59秒29
(予選 58秒76)

岩谷小学校の選手が県大会で決勝進出を果たしたのは、実に8年ぶりの快挙です。しかも、どちらの種目でも予選でベストタイムをたたき出し、その心臓の強さに驚かされました。選手の皆さん、本当におめでとうございます。

結果はもちろんですが、それ以上に、「陸上部に入ります！」「県大会に出たいです！」と意思表示をし自らチャレンジしたことと、必死に練習したことこそ、大きな価値があります。これからも、「いきいきチャレンジ∞」で自らを高めようとする岩谷っ子たちのがんばりを応援してまいります！



第54回科学作品展 入賞おめでとうございます！ ※敬称略

優秀賞 2年 ホーナー**「セミの一生」

優良賞 1年 今野**「そめものをやったほん」

1年 吉尾**「せみのぬけがらのみわけかた」

3年 伊藤**「ぼくの大好き石図鑑」

6年 菊地**「アイスが一番溶けにくい包み方」